

災害に備えて福祉避難所を指定

福祉避難所指定書交付式

災害時に、通常の避難所では生活が難しい在宅の要介護者や障害者などを受け入れる福祉避難所に高齢者施設5カ所が指定され、指定書の交付式が3月21日、市役所で行われました。

これは、市が、バリアフリー対応で職員が24時間常駐する施設を指定したもので、交付を受けた特別養護老人ホーム青山荘（御厨町）の朝永春郎施設長は、「万全の態勢で対応できるよう、担当部局と連携を深めたい」とあいさつしました。そのほかの指定施設は次の通りです。

- ・特別養護老人ホームいろは島荘（福島町）
- ・介護老人福祉施設愛光園（志佐町）
- ・養護老人ホーム海光園（星鹿町）
- ・介護老人保健施設よかところ（星鹿町）



地域の社会貢献活動を応援！

九州電力生活協同組合

九州電力生活協同組合（鶴我和哉理事長）が3月26日、身体障害者通所施設「福祉の里松浦作業所（田中廣太郎理事長）」へ寄付を行いました。

この活動は、地域に根差した社会貢献活動を行っている団体を応援しようと、生協事業などで得た収益の一部によって毎年実施。今回、長崎県内では2つの団体に寄付が行われました。

この日は、同組合長崎支所の田端康弘支所長が施設を訪れ、田中理事長へ目録を手渡しました。

寄付を受けた田中理事長は、「厳しい経済情勢の中にこのようなご厚意をいただき、大変感謝しています。大切にさせていただきます」とお礼を述べました。



まちの話題

Matsuura City Topics

落合の洞窟で彼岸行事

おこぼ様

志佐町赤木地区にある落合の洞窟で3月20日、無病息災を願う彼岸行事「おこぼ様」が行われました。

洞窟は、高さ約2m、幅約30m、奥行き約10m。入り口には弘法大師が祭っており、奥には約40体以上の地蔵が並んでいます。「おこぼ様」は、「弘法様」がなまったものといわれ、126年ほど前から、毎年、同地区の彼岸行事として受け継がれています。

この日は、ろうそくの明かりに照らされた洞窟に参拝者が訪れ、無病息災を祈願していました。



鷹島神崎遺跡を訪ねて

内モンゴルの考古学研究者が遺物を調査

中国・内モンゴルの考古学研究者の陳永志氏と于宝東氏が3月20日、鷹島歴史民俗資料館を訪れ、鷹島神崎遺跡から出土した遺物の調査を行いました。

この調査は、内モンゴルの文化財研究施設と連携を続ける九州国立博物館の事業として実施。両氏は、館内に展示してある遺物や、出土品の保存処理状況などを熱心に視察し、関係者と意見交換を行いました。

陳氏は、「戦争に関するたくさんの出土品に驚いています。特に船の構造が分かる木製の遺物を見ると当時の様子が目に浮かぶようです」と感想を話していました。



中学生が慰問コンサート

志佐中学校吹奏楽部

志佐中学校吹奏楽部（吉田真由美、濱田寿枝顧問、部員 20 人）が 3 月 31 日、菊地病院を慰問しました。

同部では、各種コンクールへの出場のほか、学校行事や慰問での演奏活動を行っており、菊地病院慰問は、6 年ほど前から始まりこれまで 5 回行っています。

この日は、金管や木管楽器で全体演奏やソロ演奏を披露。集まった同病院の患者や職員など約 80 人は手でリズムを取ったり、目を閉じて聞き入ったりしていました。また、イントロクイズや風船バレーなどで交流を深め、参加者は楽しいひとときを過ごしました。



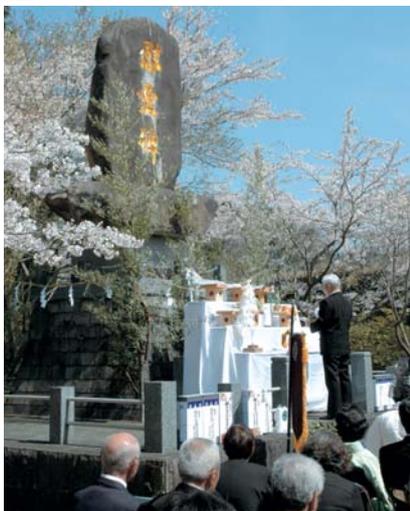
戦没者の霊を慰め

春の戦没者慰霊祭

春の戦没者慰霊祭が 4 月 4 日から市内各地で行われ、戦没者の霊を慰めました。

4 日に行われた志佐地区戦没者慰霊祭では、慰霊碑前に遺族など約 80 人が参列し、黙とうを捧げるなど、亡くなった 160 人の冥福を祈りました。

志佐地区戦没者慰霊奉賛会の松口十三雄^{とみお}会長は、「今日の日本の平和と繁栄の陰にある悲しい歴史を二度と繰り返すことのない、平和な社会を築くことをここに誓います」と慰霊のことばを述べました。

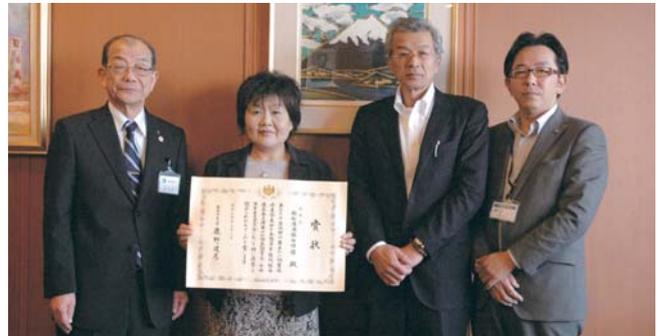


農林水産大臣賞を受賞

新松浦漁業協同組合女性部

新松浦漁協女性部（荒木直子部長）が第 17 回全国青年・女性漁業者交流大会（JF 全漁連主催）に出場し、「体験！漁村のほんなもん～民泊受け入れの取り組み」と題して活動実績を発表。第 5 分科会の多面的機能・環境保全部門で見事、農林水産大臣賞を受賞しました。

荒木部長は、受賞報告のため 3 月 28 日に市役所を訪れ、「皆さんのご指導のたまものだと思っています。そして、何より部員のこれまでの活動実績が評価されたことを嬉しく思います。今後ともよろしくお祈りします」と喜びと感謝の気持ちを述べました。



気軽にスポーツを楽しもう

今福町スポーツクラブ「ふくふく」

今福町に誕生した総合型地域スポーツクラブ「ふくふく」の設立総会が 3 月 28 日、東部交流センターで開催されました。

「ふくふく」は、健康体力の維持増進と相互の親睦を図り、地域スポーツの振興と活性化を目的に結成された、会員が自主的に運営する地域のスポーツクラブです。

初代会長となった中里好允^{よしまさ}会長（今福・北東 2）は、あいさつの中で、「地域の皆さんが、世代を越えて、いつでも誰でも好きなレベルで、いろいろなスポーツを体験できるよう、みんなで知恵を出し合いながら努力していきましょう」と抱負を述べました。

